

一 次の文章を読んで後の問に答えよ。

今回の新型コロナウイルス感染は、「百年に一度の危機」などと言われることが多いが、これは比喩ではなく、まさに百年に一度のパンデミックなのである。ちょうど百年前、1918年から20年にかけて、世界を襲ったスペイン風邪が、それであった。世界人口の三分の一、5億人が感染し、4千万人以上が死んだと言われている。わが国でも2千万人以上が感染し、40万人近い死者を出したとされているが、^A与謝野晶子の家では、1人の子が小学校で感染し、^Bマタタク間に10人の子のうち2人の男の子をのぞいて、すべての家族が感染した。晶子が「感冒の床から」と題して、なぜ政府は「多くの人間の密集する場所の一時的休業を命じなかつたのでせうか」と糾し、「社会的施設に統一と徹底との缺けて居る爲に、國民はどんなに多くの避らるべき、禍を避けずに居るか知れません」（『横浜貿易新報』）と ^C苦言を呈しているのは、さすがと感心するほかはない。①現代と何ら変わらぬ政治的な風景である。

スペインの風邪を病みていのちを愛しみし茂吉を想うウイルスの禍に

沼沢 修

3月、朝日歌壇にこの一首を見つけて採ることができた。日頃から茂吉に ①親炙している沼沢さんは、コロナと聞いてまず茂吉の感染を想ったのである。

当時、茂吉は長崎医学専門学校の教授として長崎に滞在中であった。

はやりかぜ一年おそれ過ぎ来しが吾は臥りて現ともなし

^B斎藤 茂吉

歌集『つゆじも』の一首であるが、肺炎を起こし、まさに「現ともなし」の状況を経験した。随筆『念珠集』によると、同時に感染した同僚の2人の教授も亡くなったが、その1人に、茂吉の血液を輸血しようという計画があったという。茂吉の血中に作られているはずの抗体を患者に投与しようというのである。感染症への対処が、百年前と現在でほとんど変わらないことに改めて驚くばかりだ。

今回も、中国や韓国、米国では少数ながら回復期患者の血漿投与を実施しており、カナダでは大規模な臨床試験が始まるとも聞く。これだけ医療技術が進歩した現代にあっても、未知の感染症に対して打つ手は変わらず、そして限られている。

ウイルスが広がっているのではない人がウイルスを拡げている

服部 秀星

ウイルスをゴルフボールとするならばマスクのメッシュは網無き網戸

原田 浩生

私はこんな時にこそ、科学的に正しい知識を人々に知ってもらい、それに基づいた行動が必要だと何度も言うてきたが、朝日歌壇にこういう歌を見ると ②頼もしく思う。

ウイルスは厳密には生命体ではない。勝手に増えることもなければ、人間を ③ネラって攻撃しているわけでもない。まさに、人が接触によって拡げているだけなのである。二首目のようにウイルスのサイズを知れば、布マスクを配布するのに400億円超の予算を計上するという政策に首を傾げるのは当然であろう。

トランプ大統領が、消毒液を注射してはと記者会見で発言したのには、驚きを通り越して唾 ④センとした。政治のトップに科学的思考能力があるかどうかによって、国民の命がいかに危機に曝されるかは、言うまでもない。一方、わが国においても、

③犬を抱きお茶飲む人のツイッターに35万の「いいね」つく国

今西 富幸

という状況がある。自粛要請をした人の動画としてはあまりに想像力を欠いたものであったと言わざるを得ないだろう。国民に「寄り添う」などという上から目線ではなく、トップに立つ人間に本当に必要なものは、（一）である。この場合の相手とは、

テレワーク出来ない人が支えている文明社会の根つこの部分

藤山 増昭

という歌が端的に表すような境遇の人々である。休業を要請されて、日々の生活費に ⑤キユウする人々、テレワークによって身の安全をはかることのできない職業に就いている人々への想像力が少しでもあれば、あの優雅な動画を流すという発想は決して生まれなかつただろう。

歴史上の出来事は歴史書が後世に残してくれる。しかし、その歴史の真ただ中で生きていた生活者の声は歴史書には残らない。歌は庶民の声を残すのにもっとも適した詩型である。一首では時代の声は伝わらないが、万の歌があれば、そこに ⑥マギれもない人々の声が聞き取れるはずである。「万葉集」とは見事な命名であり、

④万の葉の戦ぎのなかにこそ、くつきりとした木の存在が見えてくる。新聞の歌壇は、そのような存在であつて欲しい。

問一 傍線部①～⑥のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号 a 1 b 2 c 3 d 4 e 5

- ① 耀 ② 眩 ③ 瞬 ④ 彩 ⑤ ① 狙 ② 挑 ③ 眺 ④ 睨
① 急 ② 究 ③ 糾 ④ 窮 ⑤ ① 粉 ② 紛 ③ 扮 ④ 混

問二 傍線部ア、①の意味として適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号 ア 6 ① 7

- ア 苦言を呈している ① 悩みの相談に応じている ② 賛成意見を述べている
③ 深刻な悩みに苦しんでいる ④ 厳しい忠告をあえてしている

- ① 親炙している

- ① 親身になって世話をしている ② 親戚づきあいをしている
③ 親しく接して感化を受けている ④ 親代わりとして世話して貰っている

問三 傍線部①の具体的内容として適当なものを①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号 8

- ① 感染症への対処が原理的には血清を注射して抗体を作るという百年前の医療と現在ではほとんど変わらないこと。

- ② 政府や自治体の対策が手遅れとなったり、ちぐはぐだったりして救われる命をむざむざ見殺しにするようなこと。

- ③ スペイン風邪でもコロナでも多くの死者や病人をよそに権力者たちはのうのうと暮らして何の対策もとらないこと。

- ④ 科学的思考能力のない為政者は自分の乏しい知識と狭い視野からしか物事を捉えられないから対策が非科学的になること。

問四 傍線部 A、B について記した次の文章の (ア) (キ) の中に適語を後の ①～⑨の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 ア 9 イ 10 ウ 11 エ 12 オ 13 カ 14 キ 15

与謝野晶子は明治11年大阪府の生まれで、与謝野鉄幹が主宰する (ア) 同人となり、同人雑誌 (イ) に寄稿し歌人として出発した。明治34年に与謝野鉄幹と結婚し、この年歌集 (ウ) を刊行した。その後次々に歌集や詩歌集を刊行し、古典の現代語訳として「新訳源氏物語」を刊行した。11人の子の母でもあった晶子は、婦人の地位向上や教育問題など多方面に評論家としても活躍し、昭和17年に永眠した。

斎藤茂吉は明治15年山形県の生まれで、正岡子規の弟子である伊藤左千夫に入門し、ともに歌誌 (エ) の創刊に参加する。大正2年母の死に際して59首の連作「死にたまふ母」を茂吉の第一歌集 (オ) に掲載した。大正6年に長崎医学校の教授として着任。以後作歌活動を一時停止するが、昭和になると再び活躍し、正岡子規の説く写生説を深化させていわゆる「力」と言われるものを「短歌に於ける写生の説」として発表した。昭和20年空襲のため郷里に疎開する。院長を務める東京の青山脳病院は空爆により全焼。昭和24年、茂吉短歌の最高峰といわれる (キ) が刊行される。それは山形県在住時の短歌をまとめたもので茂吉の写生の高い境地が示され、中でも「最上川詠」は圧巻である。昭和28年に永眠した。

- ① 「白き山」 ② 「赤光」 ③ 「みだれ髪」 ④ 「明星」
⑤ 実相観入 ⑥ 新詩社 ⑦ 「アララギ」 ⑧ 一握の砂 ⑨ 無我

問五 傍線部②のように思う理由として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。解答番号 16

- ① 科学的な意識の高い人々が周囲にたくさんいると防疫の可能性が高くなるから。
② 人が接触によって拡げているだけだということがわかると恐れる必要はなくなるから。
③ ウイルスのサイズを知ればマスクをしたがらない欧米の人々の気持ちも理解できるから。
④ 科学者の意見に従わない政治家よりは一般人のほうがストイックだと思ったから。

問六 傍線部③の短歌を通じて筆者は日本の現状をどう思っているか。次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。解答番号 17

- ① 自粛要請をした人に科学的思考力があり、日本では危機の時も安心して暮らせることを自ら証明したことに安堵している。

②自肅要請をした人がコロナ禍でも優雅な生活をするのを、人々が羨望して35万件の「いいね」がつくことに共感している。

③自肅要請をした人がコロナ禍でも余裕を見せる動画を見てわが国が平和国家であることに對して感謝し称賛している。

④自肅要請をした人の配慮を欠いた動画の配信に、35万件も「いいね」をつける人々の熟慮の無さにあきれ危惧している。

問七 ーⅠーの中に入る言葉として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 18

①危機にも平静を装い国民に動揺する姿を見せない演技力

②自分の政策がいかに正しいかを国民に納得させる専門的知見

③自分が相手の立場だったら何を欲するかを想像できる能力

④自己の絶対的正しさを信じて反対意見を封じ込める独善性

問八 傍線部④の説明として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 19

①歴史書はえてして権力者の恣意的な記述があるので信頼できないが、無心に詠んだ庶民の歌だけが歴史として観る価値がある。

②歴史には名を残さない庶民の歌にも生き生きとした思いが紡がれており、それが沢山集まるとその時代の大きな思いとなる。

③歴史の中の生活者は記録に残らないが、必死になって生きている姿は大きな時代の流れを記した歴史書の端々から垣間見られる。

④万葉集は庶民から天皇まですべての人々が詠んだ歌を集めたものだから身分の違いに関係なく真実の思いが詠まれている。

二 次の文章を読んで後の問に答えよ。

伴侶に先立たれる、というのは、等しく巡ってくる人生の共通のイベントである。ふたりが同時に死を迎える確率はきわめて低い。宝くじにあたるようなもの、と言った人がいるが、^A言い得て妙だと思う。どちらが先かは誰にもわからず、ある程度の年齢になれば、自然の^Bセツ理として受け止めるしかなくなるのだらう。

とはいっても、ついでこの間まで、毎日、並んでごはんを食べていた相手、肩が^Cゴる、腰が痛い、と言つては互いに湿^D。葉を貼り合っていた相手、片方が度忘れした俳優や古い編集者の名前、小説のタイトルは、不思議なことに、もう片方も度忘れして思い出せずにいるのが常で、毎回毎回、それが可笑しくて笑いこころげ、どっちが先に認知症になるか、と冗談を飛ばしていた相手……の姿が見えなくなり、芸能人や政治家の悪口を言い合う愉しみも失われ、^E森閑とした部屋の食卓に向かつて、独りでテレビを観ながら食事をしていると、時に黒雲のように湧き上がってくる喪失感に圧倒されそうになる。

死んでから、七カ月。まだそんなものかとも思うが、そろそろ独りに慣れ始めてもいい頃合いだ、と自分に言い聞かせる。

作家同士だったからか、ひとたび論争になれば、互いに言葉では負けなかった。どちらがより論理的だったかはわからないし、似たり寄ったりだったようにも思うが、少なくとも夫のほうがしつこかった。言いたいことを言ってしまうと、どうでもよくなる私と違い、とことん理詰めで容赦がなかった。

かつて、夫から投げつけられた^F理不尽で腹立たい言葉をあれこれ思い出そうと試みる。あんなことも言われた、こんなことも、と次から次へと①「黒い記憶」はふくらんでいく。喪失の哀しみの、ゆらゆらと揺れていた淡く優しい輪郭が、何か尖った②「エイ利なもの」に変わっていくような手応えを覚える。③しめた、これで現実が戻ってくる、元気になる、と心強く思うのだが、それはちつとも長続きしない。

長く共に暮らし、血管が切れそうになるほど腹を立てたことは数知れずあったのに、今となれば、楽しかったこと、面白かったこと、共有してきた日常のささやかな習慣の記憶の数々のほうが遙かにそれを^G凌駕している。ルービックキューブを手^Hギよく回していき、あと少しで完成、という段になって、最後のところだけが、どうしてもうまく「カチリ」と嵌まらない。たとえて言えば、④そんな気分か。

九月に入って、少しずつ日が短くなってきた。はたと気づけば、窓の外が日暮れている。生と死は、広大無辺の銀河の中の、ほんの小さな点にすぎない。⑤大げさに考えなさんな。心の中でそう唱え

ながら、私はカーテンを閉め、外灯をつけ、今日も猫たちと自分のための食事の支度にとりかかる。

令和二年九月十九日版朝日新聞 小池真理子『月夜の森の梟』による

問一 傍線部③④のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

- ③セツ ①撰②説③節④設 ⑥コ ①固②擬③疑④凝 ⑦ブ ①賦②腑③符④布
④エイ ①英②衛③鋭④榮 ⑧ギワ ①極②際③究④技 解答番号 ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

問二 傍線部A～Dの意味として適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号 A ㉑ B ㉒ C ㉓ D ㉔

A 言い得て妙 ①言うタイミングが絶妙だ

②変な言い方である

③表現が微妙である

④表現が適確でうまさもある

B 森閑とした ①全く意欲のない

②まったくとくつろいだ

③ひっそりと静まりかえった

④いかにも寒そうな

C 理不尽 ①道理をわきまえない

②やり場のない

③言い尽くせない

④しどろもどろの

D 凌駕している ①結果が下回っている

②他をしのいでその上に出ている

③効き目がある

④身についている

問三 傍線部①の文脈上の意味として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 ㉑

①猫に癒やされる悲しみ ②夫に先立たれた悲しみ ③会話の相手がいない寂しさ ④いやな思い出

問四 傍線部②の思いとして適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 ㉒

①夫の死を契機にこれ幸いと経済的にも精神的にも一つの区切りをつけて生活することができ、計算して生計を立てることへのすっきりした思い。

②夫の死を悲しむのは夫との幸せない思い出があるからで、夫への憎い思いが強くなると夫の死の悲しみを忘れて前向きに暮らしをすることができるといふ思い。

③夫の生前に激しい喧嘩ばかりしていた夫婦の関係が時折現実のように甦ってきて今更ながらあんなことを言わなければ良かったと後悔する思い。

④夫をなくした悲しみが深すぎて死んだことを受け入れられず、いつまでもくよくよしているがこれも現実だと自分の気持ちに素直に従う思い。

問五 傍線部③の説明として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 ㉓

①もうちよつとところで血管が切れそうになるほど腹を立てたが何とか和平を保ててうれしい気分

②もうちよつとところで夫の死の悲しみから抜け出せそうだがどうしても抜け出せずもどかしい気分

③もうちよつとところで日常のささやかな習慣の記憶の中に夫の記憶が埋もれそうで悲しい気分

④もうちよつとところで夫と長年共有してきた美しく美しい記憶がなくなりそうでさびしい気分

問六 傍線部④はどのような考えに基づくものか。適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 ㉔

①季節の推移にも気がつかないほど夫の死のショックから立ち直れないでいる自分にこんなことではいけないと自ら鞭を打ち強く生きようという考え。

②論争になれば互いに言葉では一步も譲らなかつた夫と自分だが今となつてはどうせたいした論争ではないので些細なこだわりは捨てようという考え。

③人間に限らず、すべての生き物は広大無辺の銀河の中のほんの小さな点にすぎないので自分の命も人間以外の命も軽んじようという考え。

④宇宙の時間的、空間的スケールと比べれば夫の死も自分の生も大差はないので自分の命も宇宙の運行に委ねて日々を穏やかに過ごそうという考え。

三

次のA～Hの漢字を①象形文字②指事文字③会意文字④形声文字に分類せよ。答えはそれぞれ記号で記せ。

解答番号 A 33 B 34 C 35 D 36 E 37 F 38 G 39 H 40

A 母 B 銅 C 上 D 末 E 天 F 森 G 馬 H 清

- ①象形文字 具体的なものをかたどって作った漢字
 ②指事文字 抽象的な事柄を、約束ごとによって形にした漢字
 ③会意文字 二つ以上の文字を組み合わせもとの字を生かして新しい意味を示した漢字
 ④形声文字 すでにある文字を用いて、意味を示す意符と発音を示す音符を組み合わせた漢字

四

次のA～Gの□の中に適当な漢字を補い四字熟語を完成させよ。漢字は後の①～⑨から選んで記号で答えよ。

解答番号 A 41 B 42 C 43 D 44 E 45 F 46 G 47

- A 千客万□ B 自□自得 C 正真正□ D 前代未□
 E 適□適所 F 我田引□ G 意味□長

- ①深 ②聞 ③材 ④銘 ⑤業 ⑥水 ⑦畑 ⑧当 ⑨来

五

次のA～Eの意味となる四字熟語として適当なものをそれぞれ後の①～⑧から選んで記号で答えよ。

解答番号 A 48 B 49 C 50 D 51 E 52

- A あの手この手と巧みに人をだます技巧
 B 目先の利害ばかりにこだわって結局は同じ結果であることに気づかないこと。また口先でうまくごまかすこと
 C 指示や命令が常に変わって一定しないこと
 D 前置きや婉曲的表現をやめてズバリ本題から始めること
 E 落ち着き払ってものに動じないこと

- ①深謀遠慮 ②行雲流水 ③森羅万象 ④单刀直入
 ⑤朝令暮改 ⑥手練手管 ⑦朝三暮四 ⑧泰然自若